

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【栄小学校】

学力向上 アクションマップ

| | |
|----------------------|---|
| ① | 今年度の目標と学力向上策 |
| 重点的に育成する 資質・能力 | (1)確かな学力を身に付け、自ら学び考える資質・能力 (2)自分の想いを豊かに表現できる資質・能力 |
| ↓ | |
| 実施する学力向上策 【時期・頻度】 | (1)～①ドリル(ワーク)や「プレテスト」等を活用し、漢字の習得、計算等の反復・習熟に取り組む【週に1度(くんぐんタイム)】 (1)～②児童が自分の学びを次の学習に繋げられるように、振り返りの時間を設定する。【毎時間】 (1)～③学びを深める時間を活用し、一人ひとりの課題に合った学びを進める。【単元ごと】 (1)～④中学年から教科担任制を実施し、授業の「質」の向上と学習内容の定着を図る。【毎時間】 (2)～①児童が自分の考えを表現する際に、思考の足跡を残す習慣を身に付けさせる。また、オクリンクプラスやCanva等を活用して、思考の共有を行い、協働的な学びの中で、表現力を育む。【毎時間・単元】 (2)～②読書を通して、様々な表現力を身に付けさせる。【朝読書】 |

| | | |
|-------------------|-------|--|
| ⑤ | 年度末評価 | |
| 学力向上策の 実施状況 | 評価(※) | 1結果分析(管理職・学年主任等) 2詳細分析(学年・教科担当) 3分析共有(児童生徒の実態把握) |
| | | ↓ |
| 今年度の成果と 次年度の課題 | | 児童生徒の 学力の向上 |

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

| | | |
|----------------------|------------------|---|
| ② | 全国学力・学習状況調査結果の分析 | |
| 特徴的な結果 | | 調査の振り返り(4月) 児童生徒による振り返り 学力向上策の実施 |
| | | ↓ |
| 結果から考えられる 児童生徒の実態 | | 調査結果分析(7月) 調査結果の振り返り 調査問題の解説 調査問題の終了報告 小学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業 |

| | | |
|----------------------|------------------|---|
| ④ | さいたま市学習状況調査結果の分析 | |
| 特徴的な結果 | | さいたま市学習状況調査(5月) <小1～中3>(11～12月) |
| | | ↓ |
| 結果から考えられる 児童生徒の実態 | | 1学校全体での取組 2単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 3中間評価を経ての取組 4調査結果を活用した授業 |

| | | |
|----------------|-------|---|
| ③ | 中間評価 | |
| 学力向上策の 実施状況 | 評価(※) | 調査結果分析(7月) 結果分析(管理職・学年主任等) 児童生徒の実態把握 夏期職員研修等 |
| | | ↓ |
| 学力向上策の 見直し | | 中間評価(9月) 課題・策の見直し |

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)